

EL DUELO DE LA VIRGEN

Translated by Tsuyomasa Ota

Abstract

This work, *Crucifixion of Jesus Christ and Lamentation of Saint Mary*, was written in the 13th century by the cleric Gonzalo de Berceo, following an account written by St. Bernard of Clairvaux. This account takes the form of dialogue between the saint and the Blessed Virgin.

St. Bernard (1090–1153) was a monk of the Order of Citeaux and founder of Abbey of Clairvaux.

This work is written in the erudite form of *cuaderna vía* (“four-fold way”); however, strophes 178 to 190 appear to be couplets.

聖母の悲嘆

ゴンサロ・デ・ベルセオ作　　太田強正訳

作者 Gonzalo de Berceo は西ゴート支配時代に現在の Rioja 自治州 Logroño 県の Berceo 村に 1200 年の数年前に生まれ教養派文学 (Mester de Clerecía) の詩人として多くの作品を残した。これは中世スペインの主に聖職者による文学の流派で、読み書きのできない吟遊詩人 (juglares) による mester de juglaría と対をなすもので、cuaderna vía と呼ばれる 1 行 14 音節同音韻 4 行詩で 13 世紀に書かれているが、178 連から 190 連までは二行連句で書かれている。

この作品はキリストの受難と聖母の苦悩を描いているが、これはシトー会の修道士で Clairvaux 大修道院の創立者である聖 Bernard de Clairvaux (1090-1153) によって書かれたこの聖人と聖母の対話形式の話によってい。聖書に書かれていない話も多く、意味不明の箇所も散見され、今流行りの幻想文学の奔りとも言えそうな箇所も多々ある。また各連は一行づつに訳をつけたので原文にない日本語を補わなければならない個所があった。

本稿は BIBLIOTECA CASTRO の OBRAS COMPLETAS GONZALO DE BERCEO によるが英訳も参照した。

聖母の悲嘆

ここに聖母が子息のイエス・キリストの受難の日に受けた悲しみが始まります

- 1 聖なる女王の価値ある名において
その方は救いと癒しを世にもたらしめました
もし彼女が 神の恩寵を持って私を導いて下さるなら
私は彼女の悲しみについて詩を編みたいと思います

- 2 彼女の聖なる子息のことで被った悲しみ
その方には悪魔が決して入り込めなかったのですが
仲間から見放された時に
何の悪事も犯さなかったその方はとてもひどい裁きを受けました

- 3 神と非常に親しい良き修道士である聖ベルナルトは
私があなたたちに話す悲しみの苦悩を知ろうとしました
しかし彼は決して他の入口を探す事ができませんでした
ガブリエルが：《神はあなたと共に》と言った¹⁾ こと以外には

- 4 一度ならず何度もその信心深い人は
心からさめざめと泣きながら
聖母に頼みました
彼女の癒やしを彼に送ってくれるように

- 5 その良き人は心から言っていました
 《大きな権威を持った天の女王様
 あなたと共にメシアがその秘密のすべてを分ち持ったのですが
 あなたの慈悲を惜しむことのないように
- 6 聖なる教会全体がそれで大きな利益を得るでしょう
 あなたの存在を前にしてはより大きな恥じらいがあるでしょう
 人々はあなたを称賛するより大きな知らせを知るでしょう
 フランスのすべての指導者たちが語るよりも大きな》
- 7 その修道士が そのことを非常に熱心に頼んだので
 その叫びが天に昇ることになりました
 聖マリアが言いました：《私たちは戻ることを考えましょう
 この修道士は私たちに全然余裕を与えようとしません》
- 8 栄光ある聖母が天から下り、住まいにやって来ました
 そこでは修道士が頭布を被って祈っていました
 聖母は彼に言いました：《神があなたを救って下さるように、私の哀れな魂よ
 あなたに慰めを与えて下さるように私は大きな呼び掛けをしました》
- 9 《御婦人》、と修道士が言いました、《もしあなたがマリア様であるなら
 あなたの乳房でメシアに乳を吸わせた方なら
 私はあなたを求め続けていました
 というのは私の希望がすべてあなたにあるからです》

- 10 《修道士よ》、と婦人が言いました、《そのことを疑ってはいけない
私はヨセフの妻、マリアです
あなたの願は私を急がせ悩ませます
私は あなたと二人で一緒に詩を作りたいと思います》
- 11 《御婦人》、と修道士は言いました、《私は良く知っています
悲しみも苦痛もあなたを苦しめることができないということを
何故ならあなたは我らの主なる神の栄光の内にいるからです
しかし助けをください、私にこの恩寵に与る助けを
- 12 私はあなたに初めから語って下さるようお願いします
キリストが捕えられた時一緒にいたのなら
あなたがどのようにあるいはどんな目でその事を見ていたのか
どうかその事を話して下さいあなたをお願いします》
- 13 《修道士よ》、と婦人は言いました、《それは私には辛い事です
私の苦しみを新たにすることは、私は賛美された者ですから
しかし私の苦しみは忘れていません
何故なら心にしっかり刻み付けられていますから
- 14 老人も若者も既婚の婦人も
その様な苦難を被ってもいないし、その様に槍で貫かれて死んで
もいません
何故なら私は二度煮られ、二度焼かれたのですから
マリアの苦しみは決して想像できないでしょう》

- 15 夕食を取る日、食べ終わると
私たちは主の体（聖体）をいただきました、美味しい一口でした
すると 武装した歩兵の物音がしました
彼らは悪魔に取り憑かれたように家に入って来ました
- 16 牧者は毅然としていて住いを離れませんでした
羊の群れは皆散り散りにされました²⁾
その偽りの十字軍は仔羊を捕えました
金をもらった狼は彼らを連れ去りました
- 17 我々に降りかかったこの驚きで
私はすべての血を失い、気が遠くなって横たわりました
そのように生きるよりも私は死んだ方がよかった
死んだと思われたなら護ってもらえたでしょう
- 18 私が意識取り戻し辺りを見回すと
弟子も牧者も見えませんでした
初めは苦悩しましたが、それはとても大きなものでした
しかし助けを呼ぼうとは全然思いませんでした
- 19 私は牧者が連れて行った狼について行きました
私を置き去りにしたので彼らを厳しく叱責しているあいだ
彼らは私の声に全く注意を払いませんでした
というのは彼らは来た目的を達成していたからです
- 20 私の姉妹たちは激しく泣いていました

二人ともマントの上から胸を打ち
泣きながら野を歩いていました
両方ともに私の愛しい息子の叔母でした

- 21 マグダラのマリアは決して彼から離れませんでした
何故ならすべての女性の中で私を除いて彼女が彼を一番愛していたからです
彼女は長く悲しんでいました、これ以上はできなかつたでしょう
彼女のしていたことは女性すべてを悲しませました
- 22 他の全ての女性たちがこんなにひどく悲しんでいた時に
誰が彼を産んだ女の哀しみを想像できたでしょうか
私は事を知っています、彼が誰なのか、どこから来たのか
何故なら私のこの乳で彼を育てたのですから
- 23 人々は彼の服を剥ぎ、下帯にしました
皆一斉に彼に言いました、《ほら見ろ、
土曜の安息日を守らなかったのでどうなったのか
第六時³⁾ が来るまで吊るされるだろう》
- 24 偽りの不忠者たちが非常に酷いことをしました
がさがさの紐で彼を鞭打っていました⁴⁾
血の筋が背中を流れていました
その間私はひどい震えで苦しんでいました
- 25 そのあさましい人たちは他のもっとひどい事をしました

頭の周りに棘をかぶせ⁵⁾

彼の手には葦の王笏を持たせ

言いました：ようこそ我らの王よ！、実際彼はそうでした

- 26 人がこのような大きな苦悩で死ぬことはなかったでしょう
私は死を願いましたが無理でした
私は心底生きていたくありませんでした
しかし主なる神は私の願いを受け入れてくれようともしませんでした
- 27 良き主は喜んで苦難を受けました
そのために父が彼を送ったのですから
彼は嘲笑されても彼らのために祈りました
主なる神が彼らの罪を許すように
- 28 哀れな私は我が子を見つめていました
頬を打ち、地を這いながら
他の良き女たちは非常に悲しんでいました
私があなたたちによく話す私の二人の姉妹と共に
- 29 私は彼を見つめていました、非常に苦しんでいた
彼は私を見つめていました、非常に嘆いていたので
すべての苦しみの中でも彼は私を忘れていませんでした
私が声を上げると、彼は私をじっと見つめていました
- 30 彼は大帝国の主人である私の貴重な息子です
彼は自分自身よりも私のために多く苦しみました

彼は完全に彼の全ての職務を果たしました
聖なる福音書が我々に示しているように

- 31 ユダヤ人たちは手を血で汚そうともしませんでした
立法で彼らにそのような瀆聖が許されていなかったからです⁶⁾
そしてすでにその時は正午か正午を過ぎようとしていたので
彼を吊るすように異教徒達に渡したのです
- 32 異教徒達は彼を捕えて紐で縛り
町から連れ出し、市場からずっと離れたところで
重い木材を背負わせました
そこから彼が架けられた十字架が作られました
- 33 異教徒達はすぐに彼を十字架に架け
彼の足と手を釘づけにしました
彼らは残酷な悪者のように非常に残酷さで振る舞いました
それ故今日キリスト教徒が笑っているときに彼らは泣くことにな
るので
- 34 私は息子が苦悩するなかそばにいました
頭を垂れ、哀しみ、手を頬に当てて
卑しい集団が私の前を歩いていましたが
誰も私を傍に押しやりませんでした
- 35 私は呆然として話すことができませんでした
息子の苦悩を前にして私は休むことができませんでした

何故ならそれは飲み込むことの難しい一口でしたから
まずい食べ物である生の野生の梨よりも

- 36 十字架に掛けられて、その聖なる御子は
辺りにその優しい眼差しを向け
大きな悲しみに暮れた哀れな私を見ました
私は大きな嘆きで、《息子よ、息子よ》と叫んでいました
- 37 彼は非常に愛していた弟子を見て
そのゼバイの息子がいかに嘆いていたかを見ました
私に彼を息子として与えました⁷⁾、彼をととも愛していたので
そして母として私を彼に、このようにして私たちを繋ぎました
- 38 十字架上にあって、腕がすっかり垂れ下がって
彼が為した悪のためではなく、我々の罪のために
何故なら過てる者たちを救いたいという大きな望みからでした
その時彼は唇が乾き、喉が渴いたと言いました⁸⁾
- 39 悪者達がこの言葉を聞いた時
彼等は 獐猛な犬達よりも怒り
アラノ犬のように大きな口を開け
悪い給仕のようにまずい飲み物を彼に与えました
- 40 彼等は彼にととも苦くまずい飲みものを与えました
生の混ぜ物と酢の入った胆汁を
彼は辛いことだったので飲もうとしませんでした

すべてが彼と彼の子孫に降りかかりました

- 41 彼等はとてもひどい事をしました
私は彼等のしたことをすべて見ていました
主は苦しみ、マリアは泣いていました
お互いにとって辛い日でした
- 42 その不信心者たちは別のからかいをしました
何も見えないように彼に目隠しをして
その若者たちは各々彼の首を打ち
言いました：《キリストよ、誰が叩いたのか当ててみな》⁹⁾
- 43 修道士よ、そんなに長い遠回りは止しましょう
何故ならあなたたちはこのすべての受難をよく読んでいるのです
から
すべては聖マタイの書いた本にあります
それからゼベデオの子ヨハネの本にもあります
- 44 私たちが内緒で話すほうがいい
私の苦しみや私の不運のことについて
私が剣も槍も持たずにどんなに苦しんだか
もし神が私達を助けて、覚えておいてくださるなら
- 45 修道士よ、私はあなたに本当のことを言っています、私を信じる
べきです
私は生きているより死んでしまいたい

しかし天の王はそれを喜びませんでした
私たちは味わわなければならない多くの苦しみがあると聞きました

- 46 我が息子、我が父、我が主
我が光、我が慰め、我が救い、我が牧者
我が命、我が助け、我が栄光、我が平穩に対する侮辱の故に
我が人生に望みも喜びもありませんでした
- 47 私の人生に喜びも望みもありませんでした
それほどまでに私に魂は悲しみに沈んでいました
私によろこびの言葉をかけようとする人は
分別のない正義も知らない人でしょう
- 48 私の息子がその様な状態にあるのを見て
二人の悪人の間で十字架に掛けられるのを
彼は悪にふさわしくないのにこの様にひどく裁かれて
私の心は決して安らぐことはありませんでした
- 49 彼の聖なる手から血が流れるのを見ました
また傷ついていたので足からも
脇腹も開いて、軽薄な連中が姿を現していました
ユダヤ人たちも異教徒たちも彼を嘲笑していました
- 50 ユダヤ人たちや異教徒たちは彼を嘲笑しました
老いた駄馬のようにひどく蹴り上げて
尾と立髪がひどくやられた駄馬のように

ひどい晩課とさらにひどい朝課を口にしながら

- 51 大きな裏切りで息子を殺され
私の心はどの様にしたら安らぐことができるのでしょうか
彼らは最初に弟子から彼を買い取り
大きな苦しみを与えて、ついに彼を殺しました
- 52 足からも手からも生々しい血が流れ出て
シュロとオリーブの木の十字架を血まみれにしていました
悪者達が彼の顔に唾を吐き掛けていました
彼の悲嘆にくれた母は非常に怒っていました
- 53 血が彼から泡になって流れ出ていました
母はそれを真っ白な布で受けていました
その布は祖先に当時の遺産として残されました
子孫が常に酸い葡萄を食べるようにとの¹⁰⁾
- 54 彼らが私の主にさらに与えた苦痛については
私の哀れな魂がもっとひどい苦しみ味わっていました
私は創造主に何度も頼みました
死なせてくれと、その方が楽なので
- 55 私はしばしば何度もお願いをしていました
何回もその様な死に接することに耐えられなかったでしょう
棍棒で頭をひどく殴られた方がよかったです
この様な大きな苦悩を被るよりは

- 56 私はモーロ人たちに言いました：《あなた達、お願いだから
キリストよりも私を先に殺しなさい
母を殺せば、より大きな恵みがあるでしょう
その様な幸運をどうか無駄にしないでください》
- 57 私はユダヤ人たちに言いました：《親戚であり友である人たちよ
私たちは同じ祖先から出た一つの民です
私の願いと叫びを聞いてください
私を殺しなさい、そうすればあなたたちの子供たちの子供たちを
見るでしょう
- 58 あなたたちはあなたたちのもうけた子供たちを見るでしょう
そして彼らのために非常に苦しんだ体を取り戻すでしょう
そしてユダから買った体を解放することができるように
あなたたちは殺さなかった故に母親に悪を為しています
- 59 もし以前に私を殺したり、あるいは葬ったとしても
あるいは火に投げ入れたり、あるいは井戸に突き落としたりしても
あなたたちは私を癒したでしょう、私は何も感じなかったのだから
私は今日そんなに煮られてもいないし、焼かれてもいないでしょう》
- 60 母たちは幸せであり、幸運です
息子がこんなにひどく苦しんでいるのを見ない母たちは
しかし誰も私の苦しみを想像できないでしょう
母がこの様な息子を産んだためしがないのだから

- 61 その様な息子が母から生まれたことはありませんでした
その上彼女は決して悪を為しませんでしたし、悪に相応しくありませんでした
いつも正しい事をして、正しい事を望みました
その様な子が洗礼を受けたことはありませんでした
- 62 人はその様な子供を見ることができませんでした
いつも彼は全ての人に利益と喜びを探しました
悪人からも善人からも富を奪いませんでしたし
悪い言葉にも決して返答しようとしませんでした
- 63 侮辱されても彼は非常に穏やかでした
彼は何も答えず、非常に冷静でした¹¹⁾
誰も決して彼の口から侮辱されませんでした
誰も彼の恩寵から排除されませんでした
- 64 彼は誰も排除しませんでした、善人も罪人も
そうでなければ完璧なる主においてその人に助けを与えませんでした
そして食事に飢えた人にも
そして溢れる愛から彼の方法で食事を与えました
- 65 彼のもとに来た健康を望む病人たちを
治して、快活に喜びに満ちて送り返していました
行と言葉で彼らを非常にやすらかにしたので
彼らは彼のところに戻りたいと望んでいました

- 66 彼の聖なる説教は非常に価値あるものだったので
病人を癒やし、罪を解き放っていました
空腹の者たちに食事を与え、罪人たちを導いていました
説教を聞いた者たちは全て満足していました
- 67 ファリサイ人たちは彼を信じようとはなかったとしても
彼の質問には答えられませんでした
ある事で彼を捕まえようとしたら
いかにして彼らから身を守ることができたでしょうか
- 68 マグダラのマリアがあなたたちにちゃんと話すでしょう
夕食の時にいかに彼が彼女を迎え入れたか
彼は彼女の数々の過ちを見ずに
それらを皆許し、罰から彼女を解き放ったのでした¹²⁾
- 69 苦しんでいる人は決して彼に会いに来ませんでした
自分に必要な助けを見つけることなしに
食べたい人は彼に助けを得ました
お金を持って来なくとも何も不足することはありませんでした
- 70 情け深い主は他の全ての上にはありました
生れついでの主は死者を蘇らせました
彼が忠実な父の様に良くした人たちを
人は彼を破滅させようとはしました
- 71 彼に奉仕と愛を求める代わりに

彼に騒ぎとあらゆる不名誉を探し
最後にさらに悪い死を求めました
羊たちは牧者を消耗させました

72 羊たちは牧者に首を吊らせ
バラバに相応しい裁きを求めました
彼らは自分たちの良き王を断罪しました
私はそのことでひどく苦しむことになりました

73 《ああ、愛する息子よ、主人の中の主人よ
私は苦しんでいます、あなたも苦痛で苦しんでいます
裏切りの僕たち^{しもべ}があなたに悪い奉仕をしています
あなたは苦しみ、私はひどい思いをしています

74 大いなる哀れみを持った私の愛するむすこよ
なぜあなたの母はあなたに見放されたのですか
もしあなたが私を連れ去りたいのなら、私は満足でしょう
何故ならあなたなしでは、私は寂しいでしょうから

75 息子よ、私はあなたのそばで死にたい
私の息子のいないこの世には戻りたくありません
息子よ、主よ、父よ、私を見てください
息子は母の願いを拒否してはいけません

76 優しく驚くべき息子、哀れみの寺院
知恵の方舟、慈悲の泉

あなたの母をこの様な世に残さないでください
何故なら人々は同情も善良さも尊むことを知りません

- 77 息子よ、あなたは物事を良く知っています
あなたは訴訟の賢い調整者です
あなたの母をこの様な恥の中に残しておかないでください
聖人を吊るし、裏切り者を救う所に
- 78 息子よ、あなたと私はいつも一緒に生きてきました
私はあなたをととても愛し、あなたに愛されました
私はいつもあなたを信じ、あなたに信じられました
あなたの大きな哀れみが今私を忘れていきます
- 79 息子よ、私を忘れないで、連れて行ってください
私にはこの世に一人だけ良き友がいます
あなたが息子として私に与えてくれたヨハネがここで私と共に泣
いています
私あなたがあなたに言うものを私に与えてくれるよう願います
- 80 私があなたに頼むものを私に与えてくれるよう願います
母からのこのわずかな願いで十分です
息子よあなたによく願っておきます、そして言うておきます
この願いが忘れられないように》
- 81 主は答えて、この様に言われました
《母よ、私はあなたの大きな不幸にととても苦しんでいます

あなたの涙とあなたの尊い言葉に私は動かされます
死の衝撃よりもその事がもっと私を苦しめます

82 母よ、私は確かにそのように言いましたが忘れて下さい
大きく重い苦しみを取り去って下さい
何故なら私は天の父から送られて来たのですから
苦しみを受け、十字架にかけられるために

83 母よ、あなたは人間をよくを知っています
最初の両親がどのように罪を犯したのか
悪賢い悪魔たちがどのように彼らを騙したのか
邪悪な追従者たちが彼らに嘘を言って

84 彼らは天国を失い、命を失いました
彼らのために全子孫が失われました
良き園¹³⁾の扉はすぐに閉じられました
そして私が来るまで決して開かれませんでした

85 普遍的な判決により皆地獄に行き
そこでひどい悪臭の中に閉じ込められ
いかなる改悛によっても抜け出る事ができませんでした
しかし彼らのうちの何人かは良き信仰を持っていました

86 大いなる力と
そうして大きな慈悲と大きな智慧を持った天の父が
彼の仲間たちの魂を彼に思い出させ

彼らがそのような病院に横たわっていることを望みませんでした

- 87 神は彼らがその様な汚い所に横たわることを望みませんでした
そこでは悪魔たちが多くの汚いことをしています
神は強力な助けの天使を息子のところに送りました
彼らをそこから他の場所に移すように
- 88 母よ、あなたは最初にその秘密を知りました
良き伝令であるガブリエルが彼女にその知らせを伝えました
あなたはそれをあなたの良き倉に隠し
その鍵をあなたの良き帯の中にしっかり入れました
- 89 母よ、今私たちは勝利する時です
何故なら敵はすでに丘にかかろうとしています
母よ、元気を出して下さい、気を落とさないでください
あなたの涙は私たちを妨げかねません
- 90 母よ、あなたは心の恵みに満ちて
貴重な完璧な息子の母です
私がかんなにひどく苦しんでいることがあなたを苛んでいます
他の手段ではこれを救うことはできませんから
- 91 他の方法ではこの苦しみを癒すことはできません
他の魔法でも他の知識でもできません
私たちが飲むべきこの器¹⁴⁾から
私もあなたも、我が母よ、それをこぼし去ることはできません

- 92 私もあなたも、我が母よ、それを味わわなければなりません
私は苦しみに耐えて、あなたは大きな苦悩に耐えて
それ故全ての人々はあなたを褒め称えるべきです
魂を救うためにあなたとあなたの息子が耐え忍んだ故に
- 93 母よ、器はすぐに空けられるでしょう
父が命じたことはすぐに行われるでしょう
生者と死者は皆私たちを喜ぶでしょう
あなたの大きな嘆きは大きな喜びに変わるでしょう¹⁵⁾
- 94 もし私が命じられた通りこの器を飲むなら
悪魔は打ち破られ、父は私に満足するでしょう
栄えあるカップルであるアダムとイブは出てくるでしょう
地獄の底から、大いに不本意ながら
- 95 毒のある口のカイアファスが言ったことは¹⁶⁾
善意からではなく、不完全な平和を願ってのことで
今回私たちが全てそれを果たすためのものです
しかしカヤファスはそこか大きな褒美は得ないでしょう
- 96 私は自身地獄へ墮ちるべきです
洗者ヨハネから疑いを取り去るために¹⁷⁾
私はその一口を彼らに食べさせようと思う
彼らが常に苦しみ、嘆かなければならように
- 97 私は私をよく愛してくれた人々をそこから移して

彼らにより良い住まいを与え、彼らは十分にそれに値するのだから
 閉じられた聖なる扉を開けて
 決して混じることのなかった人間と天使を混じらせたい

- 98 母よ、抑えてあなたの嘆きをより和らげて下さい
 母よ、お願いですから、そんなに苦しまないでください
 そのあなたの苦しみであなたは私たち皆を苦しめています
 母よ、聖なる父である神のためにあなたがそうなさるように》
- 99 母は言いました：《息子よ、あなたが私に
 あたかも私を死から甦らせるようなことを言うことで
 あなたが言うそのことで私を非常に力づけます
 何故ならあなたは私たち皆のために苦しんでいるのがよく分かる
 からです
- 100 息子よ、あなたが私たち皆のために非常に苦しで
 皆のために酢と苦い物を飲みます
 人間たちを救うためにそうしています
 長い間とても苦しんできた人間たちのために
- 101 私たちが読んだようにずっと以前は
 五千年二百年もの長い間
 義人と悪人が皆混ざって存在していました
 しかし皆同じように苦しんでいたわけではありませんでした
- 102 主よ、あなたは知っています、誰が救い出されべきなのか

あるいは誰が墮落してそこに留まるべきなのか
主よ、あなたは全てを決めるを知っています
あなたが探しにきた人々を助けて下さい

- 103 息子よ、あなたの行きたい所に自由に行きなさい
この苦難においてこんなにも苦しまないように
あなたの持っているわずかな羊を呼びなさい
しかし急いで私を忘れないでください

- 104 母を助けなさい、忘れたままにしないで
何故ならあなたは母がどんなに苦しんでいるかよく知っているの
だから
息子よ、もし私がこの様にあなたに見捨てられたら
これらの不信心者たちが私に復讐するでしょう

- 105 息子よ、私たちはあなたが行くのを妨げることはできません
何故ならあなたの十字架が無駄になるいでしょうから
何故なら皆あなたによって命を得ることを望んでいるからです
しかしあなたの再来が遅くならないように

- 106 もしあなたの再来が近々でないなら
あなたの郎党に言って下さい
彼らは私が苦惱で押し潰されているのを見るかもしれません
何故ならあなたが戻ってくるまで私は良く眠ることはないでしょ
うから》

- 107 《母よ》、と息子が言いました、《今日から三日目
私は生きてあなたと共にあるでしょう、あなたは大きな喜びを見
るでしょう
乙女マリアよ、私は最初にあなたを訪問するでしょう
それからあなたと共にペトロを
- 108 母よ、これをもって私はあなたにお別れしたい
言うべきことはあなたに全て言いました》
彼は眠い人のように頭を垂れ
神に魂を渡して死を迎えました
- 109 栄光の主が魂を渡すと
貴重な価値のある栄光の母は
そこで怒り狂ったように気を失って倒れ
聖なる夫の言ったことも思い出ませんでした
- 110 聖なる夫の言ったことも忘れ
非常に大きな苦悩と非常に大きな苦しみに苛まれました
何故ならこんなにひどい恐怖に囚われたことがなく
こんなにも彼女を苦しめた打撃を受けたこともなかったからです
- 111 彼女はこんなに苦しい打撃を受けたことはありませんでしたし
こんなに身を焼く攻撃を受けたこともありませんでした
近くにいた人々が意識を取り戻させるために
彼女に冷水を浴びせましたが彼女が意識を取り戻すことはありません
ませんでした

- 112 彼らは彼女の目と顔に冷水を浴びせ
どんなに声をかけてもマリアは答えませんでした
何故なら彼女はひどい病にかかっている
医者も薬を勧めることができなかったからです
- 113 もし彼女が彼を産んだとしても驚きではありませんでした
そのような息子の死を悲しんで彼女は気を失いました
天からの印で同じような事が起こりました
皆が彼が死んだ時にはその死を悲しみました
- 114 天の天使たちが彼らの仲間入りをしました
キリストを悲しみ、マリアを悲しみました
太陽が光を失い、日は暗くなりました
しかしユダヤ人たちは警告を受け止めようとしませんでした
- 115 会堂を祭壇から分けていたバールが
二つに裂けました、泣くことができなかったからです
石は固かったのですが悲しみに割れました¹⁸⁾
哀れなユダヤ人たちは呼吸することができませんでした
- 116 昔の古い墓から
そこには多くの聖なる人たちが閉じ込められていたのですが
そして鍬で掘らなくてもひとりで開いたのですが
そこから何世代の人たちが蘇りました
- 117 そこで聖なる生活を送った多くの人たちが蘇りました

完璧な信仰を持った高潔な人々や義人たちが蘇ったのでした
 彼らが多くの人に現れたのはよく知られています
 何故なら知恵者の聖マテオがそう言っているからです¹⁹⁾

- 118 この知らせが世に広まる間
 四大²⁰⁾は皆気を失っていました
 そして不幸な私はそれらの叫びに答えました
 何故ならそれらは皆亡ぼされるだろうと思っていたからです
- 119 その時一人の高貴な騎士である百人隊長が言いました
 彼は大きな真実の証言をしたのです
 《皆さん、この不幸な人は正しい方でした
 神から遣わされて神の使者でした
- 120 息子は神にとっても愛された神の子でした
 完璧な善の天使のような子でした
 私たちに吊るされるべき方ではありませんでした
 それ故にこの恐ろしい事全てが怒ったのです》
- 121 不幸な私は随分後で答えました
 次のように叫びながら：《息子よ、息子よ、私の救い、そして私
 の命よ
 私の光、私の助け、私の幸福そして私の隠れ家よ
 あなたは私に話しかけない、今私は途方に促されています
- 122 今私は不幸で不運です

私の親愛なる息子が私に何も答えてくれないので
今私はとてもひどい打撃で傷ついています
私は今私自身を哀れで弱く思います

- 123 息子よ、あなたは死にましたが生きています
あなたが死んだのは分かりますが、あなたは生きてると私は信じ
じます
しかし私はあなたへの思いで全く死んでいます
なぜなら私は全く途方に暮れていて、正気ではありません

- 124 父より受けた聖なる本性で
あなたは常に生き続けます、何故なら死ぬことができないのです
から
しかしあなたが私から受けるこの欠乏で
あなたはそこから餓と渇き死を受け取るのです

- 125 息子よ、あなたはあなたの母を生かしておくのです
あなたが十字架上で死ぬことにしたのに
息子よ、あなたは許そうとすべきではありません
私が死を求めてこんなに苦しむのを

- 126 息子よ、あなたが生まれた時私は全然痛みを感じなかったし
痛い所も他の不快も感じませんでした
偽りの裏切り者たちが男の子供たちを殺した時²¹⁾
私たちは貴人の様にエジプトに逃れました

- 127 息子よ、あなたはいつも私を邪悪な攻撃から守ってくれました
 何故ならあなたは私が苦しむことを決して望みませんでしたから
 いつも母に対して哀れみを示してくれました
 しかし今は私に対して非常に残酷です
- 128 あなたが死から逃れようとしなければ
 息子よ、あなたの前から私を連れて去るべきです
 何故ならあなたのこんなに大きな苦しみを見ることがないです
 から
 息子よ、このことだけでも私はあなたを責めることができます
- 129 息子よ、このことだけでも私はあなたを責めることができるで
 しょう
 しかしこうは言っても、あえてそうしないでしょ
 う
 しかし全く喜んでそうはしたいのです
 何故なら私がどんな罪悪を逃れられるか誰も知らないからです》
- 130 誰もそれを考えたり想像することができないでしょう
 苦しんでいる私でもそれを語ることはできません
 私は心を込めましたが、それを語ることはできません
 私の息子なら話そうと思えばできます
- 131 私の息子にはできます、それを内にしまい持っています
 私が我が子のためにどんな不幸とどんな苦しみを被るのかを
 彼が栄えある息子として祝福されんことを
 父上が彼が不満を抱く事を望まなかったのですから

- 132 金曜の午後、昼過ぎ
第九時²²⁾ 近く、太陽がすっかり傾いた頃
義人ヨセフ²³⁾ が総督のところに行って
聖なる体を貰い受けました、すでに亡くなっていたので
- 133 彼は埋葬するために聖なる体を貰い受けました
死者を自然が命じるように
ピラト²⁴⁾ は彼に遺体を与え、全ての礼節を守りました
そして、神様、彼は素晴らしい事をしたのです
- 134 ピラトにそれを求めた人は非常に立派な事をしました
しかしそれを喜んで与えたピラトもそれに劣りませんでした
両者とも褒美に値するものでした
しかし神は一方により感謝しました
- 135 我らの主なる神が両者に感謝せんことを
というのは両者とも善人でした、しかし一方がさらにそうでした
主を葬ったものは悪く振る舞ったわけではありませんでした
しかしもう一方の功績がより少なかったと私は思います
- 136 ヨセフが色々している間に
私はひどく苦しみ、涙が止まりませんでした
私は息子を責めていました、私に話してくれないので
私は自分がまともでないことがよく分かっていました
- 137 私は十字架のそばから決して離れませんでした

私は彼らの企んでいる事を全て見ていました
私は皆を見ていました、そして皆はマリアを
彼らは私が泣いているので私を正常ではないと思っていました

- 138 私は届くところまで十字架を抱きしめて
彼の足に接吻していました、そのことに私は喜びを感じていました
高い所にあっただけ口にはできませんでした
最もしたかった手にもできませんでした
- 139 私は言いました：《ああ、不幸な女よ、私は何を見ることになっ
たのでしょう
私は落ちると思わなかった罫に落ちました
私は助けを、気力と知識を失いました
私の目がしっかり泣くように、涙を流すのをやめることのないよ
うに
- 140 私の目がしっかり泣くように、涙を流すもやめることのないよ
うに
心が痛みます、私を休ませることができません
今日という日は不吉です、私たちは心に留めておくべきです
私の息子に仕える者たちはそのことをしっかり保つべきです
- 141 私たちの仲間にこの日を覚えておかせなさい
こんなに正義のない、こんなに困難な日を
私、乙女マリアが私の太陽を失う日を
太陽が死んで、昼が来ない日を

- 142 私が私の全ての明かりを失う日に
私の目と全ての哀れみの光を失う日に
四大は泣きます、皆心から
不幸な私は、泣くとしても、軽薄さからではありません
- 143 不幸な私が、もし泣くのなら、あるいはもし気を失うなら
あるいはこのような大きな苦悩で人生を忌み嫌うのなら
何故私にこのようなことが起こるのかわかりません、私はそれに値
しないのですから
しかしその方のためにこのことが起こった神に、私はそのことを
感謝します
- 144 息子よ、太陽や月よりも輝くあなたは
揺籠にあつて全てを治めていました
主よ、一つの魂を失うことを望まないあなたは
私がいかにして涙の池を作るのか覚えておいてください
- 145 私が流したこんなに多くの涙を覚えておいて下さるように
私が漏らした呻きも、何故なら隠されていないのだから
あなたが苦しみ、私が苦難を味わう、私は不確かに話すことはで
きません
何故なら容赦ない大きな苦しみが私から言葉を奪っているからです
- 146 苦痛が私を妨げます、私をしゃべらせません
私をよく理解する人は私を責めるべきではないでしょう
何故なら私の苦痛と私の悲しみは非常に大きいのですから

この様な息子を失う女ならそれをよく想像できます》

- 147 ヨセフが完璧な体の返還を受けることになった時
彼はピラトに言いました：《あなたが神にとっても感謝されるように》
それからヨセフは吊るされていた体のところに戻りました
握り拳で自分の頭を打ちながら
- 148 そこにいた我々は皆大きな苦痛を感じ
また涙を新たにしました
我々が大きな苦痛を感じたとしても不思議ではありませんでした
何故なら我々はまずいものを食べ、ひどい飲み物を飲んだのです
から
- 149 皆ひどく嘆き、各々泣いていました
しかし彼を産んだ私には節度がありませんでした
哀れな私は皆と共に走ったりどんだりしていました
何故なら息子の怒りが衣服を引き裂いていたからです
- 150 遺骸を引き取ったアリマテアの男は
完璧な人間であるニコデモを呼び
一人が遺骸を抱きしめ
もう一人が打ち込まれた釘を抜き取りました
- 151 何も無駄な事をなさらない主から
彼らはまず右手の釘を抜き取りました
少し体が下がり軽くなりました

私には彼が地に降りたように見えました

- 152 彼は最初に私の所にきました
私が見た時癒されたと思いました
私は途方に暮れていましたが彼の手を取り
言いました：《ああ、息子よ、私の完全な愛情よ》

- 153 私は届く彼の右手を取りました
もう一方にはまだ届きませんでした
私は病んでいるそれに接吻してを
アリマタヤのヨセフを助け続けていました

- 154 この二人の男たちは遺骸を下ろし
布で包んで地面に置きました
貴重な塗り薬を遺骸に塗り
できる限りの敬意を払いました

- 155 この二人は遺骸を立派な墓に埋葬しました
それはアリマタヤのヨセフが前もって自分で用意してありました
立法により二人は遺体に服をきせました²⁵⁾
私は惨めな苦い思いで見っていました

- 156 私は不幸の中苦い内蔵を見していました
苦いコックたちと苦い食べ物を
ヘブライ語とラテン語で書かれた立札を
三番目にまずい小麦で作ったパンの様なギリシャ語で書かれた立

札を

- 157 私は書かれたように文字を読んでいました
しかし理解できませんでした、不明瞭だったので
悪い人たちが書かれた文字を書き換えて
長いものを短く、広いものを狭くしていたからです
- 158 私は息子のことで激怒していたので喋ることができませんでした
人々は私にそこから他のところへ行くように命じました
悲しみから癒されるように
魂が私から抜け出るところでしたから
- 159 人々は私にヨハネのところに滞在するように命じました
彼が私に水とパンの夕食を出してくれるでしょうから
そこで翌日安息日を迎えることができるように
私が非常に大きな心痛で死んでしまうかもしれないので
- 160 ヨハネが私を留めてくれ、住いに連れて行ってくれました
息子の前で私を託した人です
その夜私は一睡もできませんでしたし
私の歯は一口も食べるできませんでした
- 161 私は金曜の夜明け方まで
暗く辛い夜、大きな苦しみを被りました
《息子よ、息子よ、あなたの住まいはどこにあるの》と叫びながら
私は決して明け方の光を見ることはないと思いました

- 162 土曜の夜が明けました、不吉な日でした
私たちは大きな悲しみに暮れ、喜びなど全くありませんでした
私たちは泣きながら長い連禱を唱えました
私ヨハネとマリアは非常に大きな苦しみを味わいました
- 163 その日私たち婦人は打ちのめされていました
皆棒で打たれた以上に
私たちは動くことができませんでした、そんなに疲れていたのです
しかし特に私は内臓が痛みました
- 164 私たちは皆涙を流しひどく悲しみました
しかし彼を産んだ人はもっと苦しんでいました
彼女はより大きな苦悩を抱え、より大きな悲しみを背負っていました
何故なら彼女には苦汁が分け与えられていたからです
- 165 彼女は生の野生りんごを、大きな苦しみを噛みしめていました
それは槍の攻撃よりも苦いものでした
悲しまずに死ぬことはできないということを除けば
何故なら彼女は神にから他の満足を求めませんでしたから
- 166 私の大きな苦しみと大きな悲しみに
ユダヤ人全体が居住区から出て
助言を得るためにピラトのもとに行きました
弟子たちが彼の遺体を盗むことのないように²⁶⁾

- 167 《ご主人様》、と彼らは言いました、《あの詐欺師は
私たち皆を大嘘つきの様に引っかき回し
私たちに恐怖を抱かせる言葉を吐きました
何故なら彼は自分よりもましでない仲間を連れていたからです
- 168 彼は弟子たちに自慢していました
十字架上で苦しんで死ぬことになるだろうが
三日目に墓から抜け出し
最後により良い状態で復活するだろうと
- 169 ご主人様、私たちは彼の弟子たちが来るのを恐れています
土曜の安息日に私たち皆が集まるので
彼らは私たちから遺体を盗み、私たちは欺されるでしょう
彼らは私たちのことを笑い、私たちはひどく欺されるでしょう
- 170 ご主人様、見張ってください、あなたはそうすべきなのですから
私たちがこのような欺瞞に陥ることのないように
私たちは皆死んだ方がずっとましです
下劣な輩からそのように愚弄されるよりは
- 171 彼らは私たちを愚弄し、歌を作るでしょう
皆下劣でたちの悪い輩ですから
彼らは世界中、谷や片隅に住まい
嘘からお話や説教を作るでしょう》
- 172 ピラトはそれらの連中に答えました

彼らの心が分かっていたからです
あなた達は十分な見張りと勇敢な歩兵を持っている
墓をよく見張り、彼の歌を作りなさい

- 173 ある物たちは詩篇を、他の者たちは読誦を唱えるように
またある者たちは Jube Dompne²⁷⁾ を、他の者たちは祝福を

28)

あなた達はこれらを唱え夜を過ごすように

- 174 他の仲間をあなた達に近づけないように
彼らの弟子達も、他のよそ者たちも
彼らに厳しく話し、怒りで脅しなさい
妻達を未亡人にするといいなさい

- 175 墓の周りにを良き不寝番たちがしっかり囲んでいます
人々が酔っ払ったり居眠りしないように
また翌日他の仕事をする事のないように
また今夜妻を訪ねることのないように

- 176 人々は鎧をつけて墓に戻ってきました
口々に多くの汚い悪口を吐きながら
そして価値のない歌を歌いながら
多くの楽器、チターや他の弦楽器を奏でて

- 177 悪者達が歌を歌っていました
それらは母に対する不快で厳しい歌でした

《ユダヤ人達よ、世を徹して祈り、正気でいよう
 そうしなければ私たちはあざけられ、そしられるだろう

- 178 さあ、見張りなさい、さあ、見張りなさい、さあ見張りなさいユ
 ダヤ人達よ見張りなさい、さあ、見張りなさい
 あなた達から神の子が奪われないように、さあ、見張りなさい
- 179 あなた達から彼を奪おうとするだろうから、さあ、見張りなさい
 アンドレとペトロとヨハネ²⁹⁾、さあ見張りなさい
- 180 あなた達は魔法を解くことができない、さあ、見張りなさい
 あなた達が石の下から出るように、さあ見張りなさい
- 181 皆泥棒です、さあ、見張りなさい
 彼らは掛けがねを狙っています、さあ、見張りなさい
- 182 あなた達の舌はこんなにおしゃべりです、さあ、見張りなさい
 それはあなた達に悪い道を与えた、さあ、見張りなさい
- 183 皆乞食です、さあ、見張りなさい
 皆小川の浮遊物です、さあ、見張りなさい
- 184 あなた達の舌は不注意です、さあ、見張りなさい
 それはあなた達を悪い所に追いやった、さあ、見張りなさい
- 185 あなた達は欺瞞についてあまり知らない、さあ、見張りなさい

そこから一年で抜け出すように、さあ、見張りなさい

186 あなた達は十分な作り話を知らない、さあ、見張りなさい 心し
なさい

牢獄から出られるように、さあ、心しなさい

187 トマとマテオ²⁹⁾、心しなさい

彼を盗もうとする大きな望みを持っているので、心しなさい

188 弟子が彼を売りました、心しなさい

師はそれを知りませんでした、心しなさい

189 ピリポ、シモンそしてユダ²⁹⁾、心しなさい

彼らは盗むために助けを探しています、心しなさい

190 もし彼らがそれを企てようとするなら、心しなさい

今日がその日のようです、心しなさい

191 彼らが騒いで、悪口を言っている間

非常に汚い、大きな冒瀆の言葉を吐いている間

天の王をそのような非常に馬鹿げたことで苦しめました

彼らがキリストと彼の仲間達の事を言っていたので

192 彼らは特に彼の母をも苦めました

瀆神の言葉と大きな悪口を言って

彼は彼らのからかいを他の超自然なことに変えました

彼らは大きい声でも朗々とも歌えなくなりました

- 193 大きなおそろしい悲しみが彼らに振りかかりました
それは武器によるものでも人間の力によるものでもありませんでした
それは魂の主なる神によるものでした
彼は自分の同類として我慢しようとしませんでした

- 194 彼らに驚きと不運が降りかかり
感覚と全ての正気を失いました
硬い土の上に皆死んで倒れていました
彼らは皆墓の周りにバラバラに横たわっていました

- 195 彼らは随分後になって不運にあった人たちを思い出し
全ての痛手を受けた人たちを見逃しませんでした
彼らは狂人のようにお互い傷つけ合いました
全ての笑いが叫び声に変わりました

- 196 キリスト様が甦りました 神よ非常に大きな喜びです
その日、神に感謝、二つの太陽が生まれました
キリスト様が甦りました、そして乙女マリアも
全ての苦しみが喜びに変わりました

- 197 悪者たちの冗談とやじ
彼らは飢えた犬のように怒り狂って歩き回っていました
邪悪なタカのような両の尾は役に立たず

大口のマスティフ犬は子犬よりも役に立ちませんでした

- 198 人間の知恵は貧弱で乏しいものです
穴の空いた器のようで³⁰⁾ 神の役に立ちません
というのは神が命じるものは秩序あるもので
他のものは根なしで、すぐに消え去ります
- 199 ヘロデ王は確実に事を運ぼうとしました
若き王の命を縮めるために
ベトレヘムの全ての男の子を殺させました
しかし探していた子を見つけることができませんでした
- 200 バビロンの塔³¹⁾を建て始めた人たちは
感謝されることがありませんでした、何故なら完成させることが
できなかったのですから
自分を神だと思った愚かな若者達は
一生懸命に頑張りましたが何も成し遂げられもしませんでした
- 201 サウロ³²⁾はキリストが栄えないように努力しました
福音書の信仰が広まらないように
しかし真実は嘘が打ち勝つことを望まず
そして天の真実が踏みつけられることを望みませんでした
- 202 牛が杭を蹴っても無駄です³³⁾
何故なら足を痛め、大きな傷を負うので
理に反して上に向かって唾を吐く人は

唾が髭に落ちてきます

- 203 神と通じる者は懸命に恩寵を得ます
 何故なら詩篇がそう言っているからです、文字がそれを示しています
 何故なら石で怪我をすると、足がつまづきます
 指の傷は心に響きます
- 204 私に耳を傾け私を信じようとする人は
 足の所で梢を切ってはなりません
 それを切って、移動すると
 望む所に足は置かれないでしょう
- 205 栄光の女王、哀れみの母
 天使達の女主人、救いの扉
 魂の助け、大いなる清廉の花
 あなたは私に聖なる慈悲を教えてください
- 206 あなたは祝福された方です、海の道です
 そこでは旅人は危険に遭うことはありません
 御婦人、あなたは彼らを導きます、罪を犯さないように
 彼らがあなによって導かれている間は救いがあります
- 207 聖寵に満たされた母であるあなたが褒め称えられますように
 あなたが感謝され賛美されますように
 あなたが歓迎され、良く歌われますように

あなたはひどい苦しみにあい、非常な苦難を被ったのだから

208 母上、あなたに私の人生、私の運をお任せします
私の魂、私の体、私の序列を
私の脚を、私の手を、すでに捧げられています
私の目を、ふしだらなものを見ることのないように

209 祝福に満ちた天の御婦人
あなたの耳を開いて私の願いを聞いてください
私はあなたに何の捧げ物も供えることができません
しかしあなたの聖なる恩寵が私の言葉を受け取ってくださいます
ように

210 母上、あなたは絶望したテオフィロ³⁴⁾に
あなたの聖なる御子の恩寵を勝ち取ってくださいました
御婦人、私にも同じ事をしてください
私が決して悪魔に苦しめられないように

完

注

- 1) 新約聖書ルカ伝 1：28 受胎告知
- 2) 新約聖書マタイ伝 26：31
- 3) 当時は昼の時間を十二に分けていたので、現在の大体正午頃
- 4) 新約聖書マタイ伝 27：26
- 5) 同 27：29
- 6) 新約聖書ヨハネ伝 18：31
- 7) 同 19：26-27 固有名詞は書かれていない

- 8) 同 19 : 28
- 9) 新約聖書マタイ伝 26 : 68
- 10) 同 27 : 25
- 11) 同 27 : 12、14
- 12) 同ルカ伝 7 : 37-50
- 13) エデンの園
- 14) 新約聖書伝マタイ 26 : 39
- 15) 同ヨハネ伝 16 : 20
- 16) 同 11 : 49-50
- 17) 同マタイ伝 11 : 2-6、ルカ伝 7 : 18-23
- 18) 同マタイ伝 27 : 51-52
- 19) 同 27 : 52-53
- 20) 自然の構成要素、土、水、空気、火
- 21) 新約聖書マタイ伝 2 : 16
- 22) 当時は昼の時間を十二に分けていた、大抵現在の午後三時
- 23) アリマタヤのヨセフのこと、新約聖書マタイ伝 25 : 57 他
- 24) ローマの提督 Pontius Pilatus
- 25) 新約聖書ヨハネ伝 19 : 39-40
- 26) 新約聖書マタイ伝 27 : 62-66
- 27) 意味不明 頌栄のことか
- 28) 原文欠損
- 29) いずれもキリストの弟子
- 30) 旧約聖書イザヤ書 45 : 9
- 31) 旧約聖書創世記 11 所謂バベルの塔
- 32) 聖パウロのこと 新約聖書使徒言行録 9 : 1-9
- 33) 同上、26 : 14
- 34) Milagro de Nuestra Señora に登場する人物

参考図書・辞書

BIBLIOTECA CASTRO OBRAS COMPLETAS DE GONZALO DE BERCEO

The Collected Works de Gonzalo de Berceo ACMRS Arizona 2008

Diccionario Medieval Español Martín Alonso Universidad Pontificia de Salamanca 1986

Diccionario de Castellano Antiguo Manuel Gutiérrez Tuñón Editorial Anfonópolis 2002

Tentative Dictionary of Medieval Spanish Lloyd A.Kasten and Florian J.Cody The Hispanic Seminary of Medieval Studies New York 2001

Diccionario de la Lengua Española Real Academia Española Espasa 2001

スペイン語大辞典 白水社